

## 不適合情報

2023年3月1日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	計装用圧縮空気系除湿装置アフタフィルタ(A)の圧力指示値が上昇していることを確認した。調査の結果、除湿装置アフタフィルタ(A)入口弁または出口弁のシートバスと推定。当該弁を点検・修理。	2023/02/17	
2	1号機	排気筒モニタ建屋トリチウム回収装置(B)に、冷凍部温度異常の警報が発生したことを確認した。サンプリング中だったため警報を解除し、運転を継続。翌日に再度冷凍部温度異常の警報の発生を確認した。回収装置(B)を停止し、A系の単独運転に切り替え。調査の結果、回収装置(B)ヒーターの動作不良と判明。当該ヒーターを点検・修理。なお、A系の単独運転でもサンプリング可能なため、機能に影響なし。	2023/02/22	
3	5号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機軸受潤滑油冷却器の漏えい検知管に、油漏れを確認した。当該冷却器のシール材(Oリング)を交換。なお、潤滑油プライミングポンプの間欠運転では油漏れは確認されず、潤滑油系統の機能は維持されており、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。	2023/02/17	
4	5号機	タービン建屋～海水熱交換器建屋間A系北側ダクト(非管理区域)ジョイント部付近の天井に、水の滴下および南側ダクト(非管理区域)壁面に、水の漏れを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2023/02/22	
5	6号機	原子炉建屋換気空調系点検において、非常用ディーゼル発電機(A)区域空調ダクトの風量調整用ダンパー(7013)が、全開にならない動作不良を確認した。当該ダンパーを交換。	2023/02/15	
6	6号機	原子炉建屋換気空調系点検において、非常用ディーゼル発電機(A)区域空調ダクトの風量調整用ダンパー(7014)が、全開にならない動作不良を確認した。当該ダンパーを交換。	2023/02/15	
7	7号機	原子炉建屋換気空調系点検において、非常用ディーゼル発電機(A)区域空調ダクトの給気処理装置外気取入風量調整用ダンパーが、全開にならない動作不良を確認した。当該ダンパーを交換。	2023/02/20	